

令和7年度良好な水環境保全・活用モデル事業

○豊かな水辺等の良好な水環境の保全・活用による地域づくりにより、良好な水環境を活かした地域の魅力度の向上、地域活性化を推進するモデル事業を実施（令和7年度は21件の応募から5件を選定）

■ 事業の概要

環境省では、規制等による施策と並行して、これまで「名水百選」や「平成の名水百選」などにより、健全な水循環の維持・回復についての理解醸成や、豊かな水辺、星空、音の風景等、地域特有の五感で感じる自然や文化といった「良好な環境」の保全にも取り組んできました。

しかし、各種認定を受けた「良好な環境」が荒廃しつつある地域や、良好な環境の保全活動の継続が、資金不足や担い手不足等により困難となる地域があります。

このような状況の中、地域における「良好な環境」を保全するだけでなく、積極的に再生・創出することの重要性が高まっています。さらに、保全・再生・創出した良好な環境を持続可能な形で利活用することにより、地域課題を解決し、人々のウェルビーイングや地域の魅力度の向上、地域活性化を実現することへの期待が高まっています。

こうした状況を踏まえ、環境省では、地域における水環境等の保全・活用による地域づくりにより、地域における関係主体の取組を促すとともに、水環境の適切な管理・良好な環境を創出することを目的としたモデル事業を実施します。

びわ湖源流の里山1300年の歴史と未来をつなぐ水辺空間創出リバー・エコツアー

団体：一般社団法人栗東市観光協会

(滋賀県栗東市)

事業概要

琵琶湖の源流・栗東市走井集落で、集落の歴史・文化・農業と水とのつながりを取材・発信するとともに、水辺の調査・保全活動と環境×歴史×文化×農業を複合的に捉えた「リバー・エコツアー」を造成し、集落住民・来訪者・企業等の連携による水環境保全体制の構築と地域内外のコミュニティの強化による、持続可能な地域づくりを目指す。

実施内容

- ・ 走井川・細川の水辺環境を保全する活動を含めた「リバー・エコツアー」の造成
- ・ 水辺環境と歴史・文化のつながりについて取材、発信するための普及・啓発ツールを作成
- ・ 取組を継続して実施できる体制づくり、及びOECEM等の認定制度等の活用の検討



(走井川の生き物観察会)